

大野屋旅館

江戸時代(1603 年-1867 年)に成田山新勝寺へと至る道として表参道が繁栄し、その後、二度の世界大戦に耐え抜いたあと、あとに残った建物は一握りであった。乱平面造り(翻訳補足：段差のある階層構造の家)の大野屋旅館も、その一つである。1935 年に建てられた、空にそびえる大規模な木造建築は、新勝寺薬師堂の近くに位置する。また、現在は日本国有形文化財に登録されている。現在は宿泊施設としてゲストを泊めることはないが、料理店として営業しており、日本料理や鰻などの美味しい料理を楽しめる。